

Web Usability & Accessibility

ウェブのユーザビリティとアクセシビリティ

Vol.5

連載第1回で「首相官邸」を取り上げたが、連載開始直後に新政権が誕生し、サイトも改良された。また、6月からは「小泉メルマガ」の配信が始まり、官邸へのアクセス件数も飛躍的に増大したといわれている。そこで今回は、新首相官邸サイトの「Webユーザビリティ&アクセシビリティ」を診断し、リニューアル効果を検証することにした。



アクセシビリティ分析担当
濱田英雄
(株)ユーディット 主任研究員
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当
石田直子
(株)ユーディット 研究員
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット
URL <http://www.udit-jp.com>
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

「小泉メルマガ」でアクセス激増 首相官邸サイトは使えるか

小泉政権のIT関連での話題といえば、「小泉内閣メルマガジン」です。現時点(7月5日付公表数)でメルマガ登録者数は約211万人を記録したというニュースが流れています。また、メルマガ購読の登録ができる首相官邸サイトへのアクセスも激増しています。6月22日の報告によると、6月中旬にリリースされた同サイトへのアクセスは、家庭からが172万人、職場からも140万人を超えるアクセスがありました。(http://www.netratings.co.jp/press_releases/pr_220601.html)

また別の報告によると、訪問者は50代以上男性のアクセスが全体の20%を占めるという特徴が出ています。(http://www.vrnetcom.co.jp/webm/web4/index.html)

これまでにない数の訪問者、比較的高い年齢層に強い関心をもたれている首相官邸サイトこそ、アクセシビリティやユーザビリティの高いサイトづくりが必要になります。ここに限ったことではありません。省庁のサイトは、特にあらゆる人々が訪問することを想定したサイトづくりを心がけてほしいものです。

リンク表示が見つけにくい メルマガ登録プロセス

サイトを訪れる人の多くは、小泉内閣メルマガ配信登録に来ます。では登録のためにユーザーが行うプロセスを想定してみましょう。

ユーザーの想定するプロセス

1. メルマガ登録ページを探す

ユーザビリティの高いWeb作りのための6ポイント

- ・ユーザーにサイトの目的が伝わること
- ・全体像がトップページで把握できること
- ・デザインや構成が統一されていること
- ・必要な情報が適切な場所にあること
- ・次の動作がわかりやすいこと
- ・予想されたフィードバックが返ってくること

2. メールアドレスを入力する
3. 送信ボタンを押す
4. 登録確認画面を見る

このほか、人によっては規約などを読んで、セキュリティや解除方法を確認しますし、送信時にエラーや入力ミスが起こる場合もあります。では、実際のページはどうなっているのでしょうか。

メルマガ登録ページを探す

トップページの上部にメルマガジン登録ページへのリンクボタンがありますが、少々色が薄くて見にくいです。私は1度見過ごしてしまいました。

メールアドレスを入力する

登録ページへのリンクを押すと「読者登録を行っています」と表示されます。しかし、ここには入力フォームがありません。登録へはページの下まで見ないとリンクがありません。さらに登録ページはもう一階層奥になります。

送信ボタンを押す

必要事項を入力し、送信すると、一度確認画面が出て、その後登録完了になります。

登録確認画面を見る

登録完了は最終的にはメールで送られてきます。

ユーザーが想定したプロセスができるだけスムーズに行われるサイトづくりが理想的です。しかし、その他にセキュリティ情報の表示や登録内容の確認など、ユーザーに安心感を与えるプロセスをうまく混ぜ込んでいくところが腕の見せどころです。小泉内閣メルマガジン登録は登録までの階層が深い点と、リンクが見つけにくい点が見えませんが、注意事項や確認などを見せるように、うまく情報を取り入れています。

(文:石田直子)

アクセシビリティの高いWeb作りのための6ポイント

- ・画像にはALT属性をつけること
- ・外国語の乱用はしないこと
- ・<title>タグは的確につけること
- ・背景と文字色はコントラストがあること
- ・フレームの使用は必要最小限にすること
- ・新しい技術には代替手段を用意すること

ユーザビリティについて (解説/石田直子)

ユーザーにサイトの目的が伝わること ★★★

政権が変わっても、首相官邸サイトの役割や目的は変わりません。小泉政権のホームページはレイアウトなどが、前政権時より変更されていますが、中心となる内容は継承されています。

しかし、同じ目的を満たしながら、オリジナルの情報発信や、ユーザーをひきつける工夫がよいですね。今回の小泉内閣の高ヒット率で、省庁サイトもリポート率などを意識しはじめたのではないのでしょうか。

全体像がトップページで把握できること ★★

一見して、トップページはごちゃごちゃした印象を受けます(図1)。これは各項目のサブ項目にあたる内容、さらに公式発表や情報などの項目が多すぎるためです。これらがトップページの一覧性を阻害しています。多くの情報が発信されている証ではありますが、見やすくないと、せっかくの情報がユーザーに読まれなくなってしまいます。

デザインや構成が統一されていること ★★★

トップページから1段階奥のページに進むと、上部にヘッダー情報と、別の項目へのリンクが表示されます。

しかし、このリンクがページによって違います(図2・3)。ヘッダーに表示されるリンクは、ナビゲーション目的のために設置され、目次で示される主要項目(図4)がすべて載せられるのが普通です。首相官邸サイトでは多くても4項目までしか表示されません。

必要な情報が適切な場所にあること ★★★

第1回(森内閣)の時には首相官邸の実際の住所を探すのに苦労しました。新しいサイトも基本構成を継承しているため、この点は改善されていません。ところが、英語ページには目立つ位置に記載されています。国内と海外向けは若干内容が変わるのは仕方ないことですが、住所などの基本情報は統一してほしいものです。

小泉内閣の首相官邸サイトでは、メールマガジン登録のページを探す人が多いかと思います。これはトップページの上部の目立つ位置にありますが、色が薄く、文字の線が細いです。もう少し主張してもいいでしょう。

次の動作がわかりやすいこと ★★★

たとえば、「小泉総理の動き」(図1-①)では、それぞれの内容項目が時系列に並んでいきます。これをたどっていくには、一度トップページに戻るか、バックナンバーのページへ戻る必要があります。あきらかな順序がある一連の項目については、各ページに「次の項目へ」というようにすると、操作性が向上します。

予想されたフィードバックが返ってくること ★★

トップページの主要項目のタイトルが書かれたバーについて、これらは一見クリックできそうな形状をしています(図1-②)。しかし現状はリンクにはなっていません。バックナンバーのリンクを押すと、リストを見ることができます。タイトルバーはリンクになっていることが近頃多いので、これはあまり一般的ではないかもしれません。

ユーザビリティ総合評価 ★★★★★

一ロコメント おしゃれな小泉首相のパーソナルイメージを意識しているのか、ブルー系で統一されたきれいな色使いです。しかしこれが裏目に出て、かえって見にくくなっています。背景と同系色の文字はコントラストを強めるべきでしょう。

図1 http://www.kantei.go.jp/

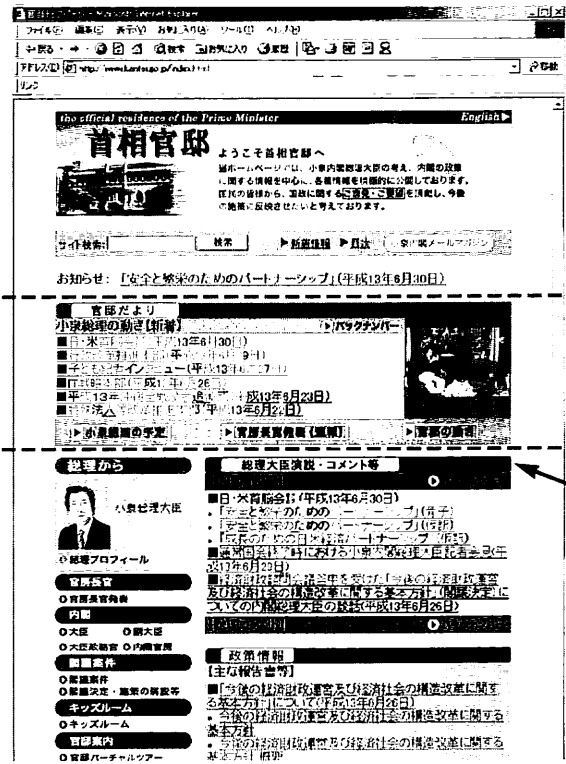


図2

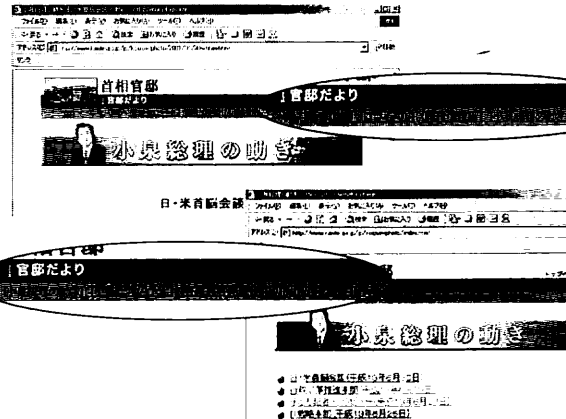


図2 http://www.mhlw.go.jp/general/work/daijin.html

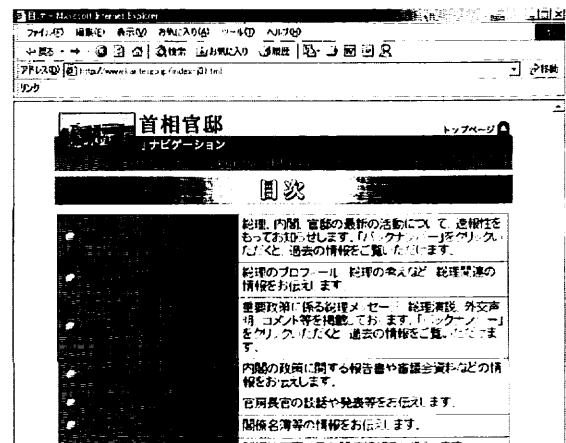


図5 <http://www.kantei.go.jp/jp/rekidai/index.html>

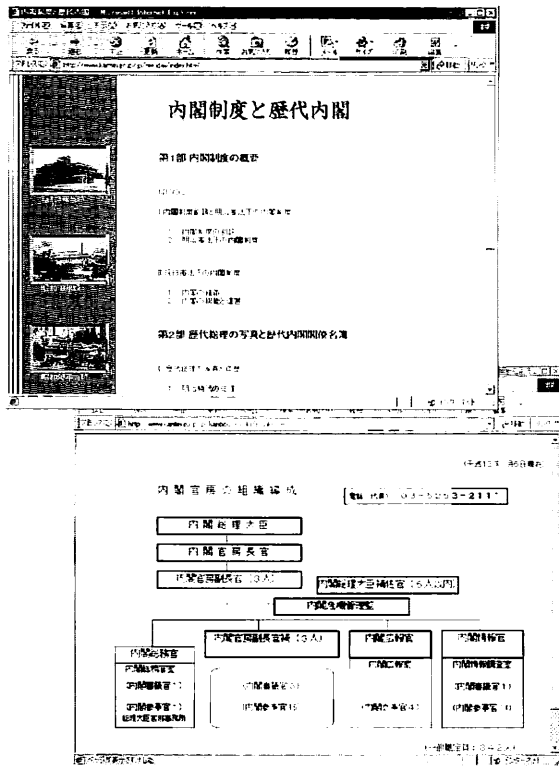


図6 <http://www.kantei.go.jp/jp/kanbou/sosiki/sosiki.html>

図7 <http://www.kantei.go.jp/jp/koizumiphoto/2001/07/02nitiei.html>



図8 <http://www.kantei.go.jp/jp/koizumiphoto/index.html>



アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

画像にはALT属性をつけること ★

イメージマップになっているところのALT属性がついていないので、リンク先がファイル名になっています。また、一部ALT属性が英語になっているなど、適切でないところがあります。

外国語の乱用はしないこと ★★★★★

特別わかりにくいようなカタカナ言葉は見受けられませんでした。

<title>タグは的確につけること ★★★

「総理演説等」の中に異常に長い<title>があるなど、考慮すべきところがありました。

背景と文字色はコントラストがあること ★★

森内閣時もそうでしたが、同系色の組み合わせでコントラストが低いと見やすいといえません。とくに「政策情報」のリンク文字は判別しにくいと思います。

フレームの使用は必要最小限にすること ★★★★★

サイト内ではフレームは使用していないようです。

新しい技術には代替手段を用意すること ★★★★★

見た限りでは、新しい技術は使われていないようです。

その他

【ALT属性のつけ方】

視覚障害者が音声で聞く、画像の情報を得るための代替文字「ALT属性」は、ただつければ良いという訳ではありません。聞く人の身になって考えることが大切です。このサイトでも、タイトル部分で同じ言葉が繰り返される場面が数多く見られます。実際に音声で読んでみて親切なALT属性をつけることが必要です。

【写真のALT属性のつけ方】図7

たとえば(図9)の写真のALT属性には、上の写真説明と同じ内容が入れています。音声では、写真なのかはわからず、ただ2回同じ文章が読まれるだけです。どんな文章を入れるかは制作者の判断ですが、ここでは「にこやかに会談する小泉総理とブレア英国首相の写真」などと入れたらどうでしょう。ここで重要なのは「写真」という言葉です。これによって、そこに写真があることがわかります。

【ワンポイント画像のALT属性のつけ方】図8

「小泉総理の動き」の項目の前についているワンポイント画像には「ボタン」というALT属性がついています。ボタン=押すもの、というイメージがあります。この場合、全角スペースだけを入れるか、「項目」「まる」「ポイント」など、別の対策が考えられます。

【サイト内の統一について】図5・6

同一サイト内では、バックの色やデザインをある程度統一した方がサイト内にいるという安心感があります。

【スタイルシートの薦め】

首相交代などで、サイト全体のイメージを変えたい場合に、リンク形式のスタイルシートは威力を発揮します。この形式をとっていると、たとえば背景を変えるのに、数千ページあっても、1つのスタイルシートファイルを書き替えれば、全背景を瞬時に変えることができます。

アクセシビリティ総合評価 ★★☆☆☆

一ロコメント リンクするイメージマップに、ALT属性がついていなかったことが評価を低くしました。